

I 調査の仕様

1 調査の目的

2010年世界農林業センサスは、農林業に関する基礎データを作成し、食料・農業・農村基本計画及び森林・林業基本計画に基づく諸施策並びに農林業に関する諸統計調査に必要な基礎資料を整備するとともに、地域の農林業の実態を明らかにすることを目的としています。

2 調査の対象

6 用語の解説「農林業経営体」に該当するすべての農林業経営体を対象とします。

3 調査期日

平成22年2月1日現在で実施しました。

4 調査方法

農林水産省—都道府県—市区町村—指導員—調査員の実施系統で行う調査員調査で、農林業経営体による自計申告調査としています。

5 数値について

(1) 今回の数値は確定値です。

(2) 要旨及び統計表の面積の数値については、各単位ごとに四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。また、要旨中の各表の構成比の数値は、各単位ごとに四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。

(3) 表中に用いた記号は以下のとおりです。

統計表の数値

「0」…単位に満たないもの（例：0.4ha→0）

「-」…調査を行ったが、事実のないもの

「…」…事実不詳又は調査を欠くもの

「△」…減少したもの

「X」…農家数等の経営体数が1又は2の場合はその経営体の秘密を守るため経営体数以外の数値を「X」で表示しました。また、他の結果数値から算出されるおそれのあるものについては、経営体数が3以上であっても同様に秘匿とした箇所があります。なお、秘匿された数値は、合計に含まれています。